

の習得を目指す。	(教務) (学年)	を図る。	(2 学年)		A
		諸活動を通して、進路実現に必要な思考力・判断力及び自己表現力を磨く。		B	
			(3 学年)		
	清潔で安全・安心に配慮した学習環境と、使いやすい情報環境の充実。	授業に対する取り組み方や学習環境の整備改善を図る。	(教務)	A	A
		情報機器の保管及び管理、校内 LAN の運用・管理を行い、円滑な教育活動を支援する。	(教務)	A	
		生徒・職員にとってよりよい教育環境の充実を図る。	(教務)	A	
		図書館オリエンテーションを実施して、図書館の適切な利用について指導する。	(教務)	A	B
		図書館だよりを年 2 回発行する。また、新着案内を定期的に発行する。	(教務)	A	
		一斉読書を実施し、読書に親しむ機会を増やす。	(教務)	B	
		蔵書充実のため、希望調査等を実施して、図書資料の廃棄と更新を進める。	(教務)	B	A
		学校行事の放送などを円滑に行えるよう、機器の準備・調整をする。	(教務)	A	
		校舎内大清掃を 6 回、屋外大清掃を 1 回実施する。また地域の環境美化を推進しボランティアの精神を養う。	(保健防災)	A	
三年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。	生徒の進路実現に向けた学校全体としての組織的な支援体制の確立。進路実現のための面談・個別指導の充実。	生徒の進路実現を踏まえた教育課程の検討をする。	(教務)	B	B
		資格取得に向けた取り組みの充実を図る。	(教務)	B	
		各学年の進路目標に応じた進路行事等の開催と充実を図る。	(進路)	A	A
		キャリア教育の視点に立った進路指導計画（概要）の作成と理解を促す。	(進路)	B	
		基礎的・基本的な学力の定着と、書く力（作文・小論文等）及び話す力（面接等）の涵養をはかるべく手立てを講じる。	(進路)	A	
		生徒の進路指導室および進路資料室の利用・活用を促進する。	(進路)	A	
		進路に関する情報提供（3 年次クラスルーム・進路指導室前掲示板）を行い、進路活動等へ生徒の自主的な参加を促す。	(進路)	A	
		講演会、職業人講話、職業適性検査等を通して、自分の能力・適性の理解を促進する。	(1 学年)	A	
		オープンキャンパス(探求活動)や農業研修(修学旅行)を通じて、進路意識の高揚と人間力を育む。	(2 学年)	A	A
		生徒一人一人が希望する進路の実現に向けて、丁寧な指導を継続的に行う。	(3 学年)	A	
生命を尊重し、一人一人が自他を認め、人間関係を大切にする人材を育成する。	命を見つめて、命に学ぶ教育の実践。充実した生徒指導による規範意識の醸成。	問題行動を起こした生徒に対して、保護者と連携して組織的・継続的な指導を行う。また、いじめに関しては、早期に気づけるよう生徒の言動を注視する。	(生徒指導)	A	A
		朝の登校指導を実施し、日常からの生徒指導と挨拶の励行を指導する。	(生徒指導)	A	
		服装の基準を示し、端正にして清潔な身だしなみができるよう理解させる。	(生徒指導)	A	
		保健指導と健康相談を適宜行う。また「保健だより」等を学期毎に発行する。	(保健防災)	A	A
		避難訓練を実施し、事故や災害時における応急対応や救護の知識と技術を体得させる。	(保健防災)	A	
		コミュニケーション活動や協働活動を通して他者の価値観や気持ちを理解する力を育むとともに、身だしなみ・挨拶・時間厳守などの自己コントロールを常に意識させる。	(1 学年)	B	B
		修学旅行による平和学習で、命の大切さを学び、集団活動を通しコミュニケーション力を育む。	(2 学年)	A	
		他者とのコミュニケーションや協働活動を通して、他者との関わりから、価値観や気持ちを理解し行動する力を育む。	(3 学年)	B	
		「長岡農業高校いじめ防止基本計画」に基づいて、いじめ防止対策委員会が中心となって、全校をあげていじめ防止に取り組む。	(共通)	A	
地域社会や関係機関と連携を深め、地域産	保護者・地域との連携強化。農業教育を通しての積極的な地域・団体との連	PTA総会及び各PTAの委員会について、保護者と協力・運営し、参加・活動を促す。(渉外)		A	A
		学校カレンダーを作成・配付し、PTA広報誌「大河信濃」を年 2 回発行する。(渉外)		A	
		PTA研修会を検討・開催し、本校の教育活動への理解を深め、親睦を図る。(渉外)		A	
		生徒の自主性と自己肯定感向上を重視し、生徒会活動や行事を推進する。		B	

業の発展に 貢献できる 人材を育成 する。	携。 農業教育を通しての地 域への参画意識の醸成。	(洪志会 (生徒会))		B	B
		環境や福祉などのボランティア活動への主体的な取組を促し、活動の充実を図る。 (洪志会 (生徒会))	B		
		部・同好会活動を通じて社会に通用する人格形成を図り、大会や発表会で成果をあげる。 (洪志会 (生徒会))	B		
		農業クラブへの興味・関心をさらに高める。授業との連携をさらに強くし、活動の成果を あげる。 (洪志会 (生徒会))	A		
	(渉外) (洪志会 (生徒会) (学年)	各種行事や農業体験を通して保護者・地域との交流を図るとともに、保護者と地域から認め られる行動規範や教養を身につけさせる。 (1 学年)	B	B	
		各種行事を通じて、保護者と地域から認められる行動規範や教養を身につけさせる。 (2 学年)	B		
		各種行事や農業の学習体験を通し、自ら率先して行動する力を養い、保護者や地域から認 められる行動規範や教養を身につけさせる。 (3 学年)	B		
成 果	概ね、計画通りに取り組めた。今後は、学校運営の改善に向けた取り組みの一つとして、地域向けに農 産物や加工品の販売会の実施回数を増やし、学校教育内容を地域に発信することで地域の距離を深め、地 域に必要とされる開かれた学校として、特色ある学校作りを目指す。			総合評価 A	